

## 利用規約

### 第1条（規約の適用）

この利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、両備タクシーセンター（以下、「当センター」といいます。）が提供するQRコードによるタクシー注文（配車）サービス「ココベル」（以下、「本サービス」といいます。なお、QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。）を利用するお客様（以下、「利用者」といいます。）と当センターとの間に適用されます。

### 第2条（本規約の改定・変更）

- 1 当センターは、利用者に事前に通知をすることなく、また、利用者の事前の承諾を得ることなく、本規約を改定・変更することができるものとします。
- 2 利用者は、本規約改定・変更後に本サービスを利用した時点で、改定・変更後の本規約に同意したものとみなされます。

### 第3条（本サービスの利用）

- 1 利用者は、本サービスを対応端末（スマートフォンやタブレットその他当センターが指定する機器を意味し、以下同様とします。）にてQRコードを読み込んだ後、当センターの指定する方法に従って本規約及びプライバシーポリシーの内容に同意するものとし、利用者は、係る同意を行った場合に限り本サービスを利用することができます。
- 2 利用者は、本サービスを利用するにあたり、対応端末その他本サービスの利用に必要な機器及びサービスを自らの費用及び責任で用意するものとし、また、配車サービスを利用する際にかかる通信料及び通話料をすべて負担するものとします。

### 第4条（配車サービスについて）

- 1 利用者は、本サービスを用いてタクシーの配車依頼（以下、「タクシーオーダー」といいます。）をすることができます。これに対して当センターは、営業可能範囲内において、当センター及び当センターの指定するタクシー会社（以下、「タクシー会社」といいます。）の運行するタクシーに迎車を指示するよう努めるものとし、その配車の実現を保証するものではありません。
- 2 次に該当する配車サービスは行わないものとします。
  - ① 過去に本規約に違反した者からのタクシーオーダー
  - ② 過去に当センター及びタクシー会社との契約に違反した者からのタクシーオーダー
  - ③ 虚偽の内容を含むと疑われるタクシーオーダー
  - ④ 過去に複数回のキャンセル（当センター又はタクシー会社への事前連絡の有無や理由の如何を問わず、当該利用者のタクシーオーダーに基づき実際にタクシーが配車されたに

もかかわらず乗車が行われなかったことを意味します。以下同様です。)を行った利用者からのタクシーオーダー

- ⑤ 当センター、他の利用者その他の第三者に損害を生じさせるおそれのある目的又は方法で配車サービスを利用しようとした場合
- ⑥ 二重配車(同一の利用者が実質的に同一の時間帯に複数のタクシーオーダーを行うことをいいます。)が疑われるタクシーオーダー
- ⑦ その他、当センターが不適切と認めるタクシーオーダー

3 当センター及びタクシー会社は、迎車地点到達後、一定時間を経過しても乗客が迎車地点に現れない場合、キャンセルされたものとみなすことができます。

4 乗車時において、当センターが指定する方法により本人確認が行われることにつき了承するものとします。各タクシー会社の乗務員において当該本人確認ができなかった場合、乗車をお断りする場合があります。

#### 第5条(本サービス及び配車サービスの中断及び停止)

当センターは以下の各号の事由が生じた場合、利用者に許可をとることなく本サービスの全部又は一部を中断・停止できるものとし、これにより利用者が不利益を被った場合でも当センターは一切責任を負わないものとします。

- ① コンピューター、通信回線等が事故により停止した場合
- ② 火災、停電、天災地変などの不可抗力により本サービスの提供ができなくなった場合
- ③ 本サービスに係るコンピューター・システムの点検又は保守作業を定期的又は緊急に行う場合
- ④ セキュリティを確保する必要があるが生じた場合
- ⑤ 法令又はこれに基づく措置により本サービスの提供が不能となった場合
- ⑥ その他、当センターが停止又は中断を必要と判断した場合

#### 第6条(サービスの内容変更・提供終了)

当センターは、利用者に事前の通知をすることなく、本サービスの内容の全部又は一部を変更し、また、その提供を終了することができるものとします。

#### 第7条(旅客運送サービスの提供及び料金の支払い)

利用者は、以下の各号について確認した上で、本サービスを利用して、タクシー会社との間で直接運送契約を締結するものとします。当センターは、配車の媒介にとどまり、運送契約の当事者とはなりません。

- ① 当センターによる本サービスの提供に関し、利用者のタクシーオーダーに応じてタクシー会社による迎車がなされ、タクシー会社によって利用者に対して旅客運送サービスが提供される場合には、利用者は、自己の名において、自らの費用及び責任で、当該旅客運

送サービスの提供を受けるものとします。

② 利用者が支払うべき運賃、待機料金、迎車料金、有料道路料金、駐車場料金、観光ガイド料その他の旅客運送サービスの対価（以下、「タクシー料金」といいます。）に関しては、各タクシー会社が定めるところによるものとし、利用者は当該タクシー利用料を各タクシー会社に対して各タクシー会社の指示に従って支払うものとします。

③ 当センターは、タクシー会社（当センターを除く）による利用者に対する旅客運送サービスの提供に関し、一切の責任を負わないものとします。また、タクシー会社は、自己の責任において旅客運送サービスを提供しており、当センターは、本規約に明示された場合を除き、係るタクシー会社（当センターを除く）の旅客運送サービスの提供に何らの関与もしません。

#### 第8条（第三者の利用）

本サービスの利用者と旅客運送サービスの提供を受ける者（以下、「乗客様」といいます。）が異なる場合（以下、「第三者利用」といいます。）、利用者は、乗客様に対して予め本規約の内容を同意させるものとし、乗客様による本規約への違反、その他乗客様が当該タクシーオーダーに係る旅客運送サービスの提供を受けることに関して生ずる一切の責任を負うものとします。

#### 第9条（利用者の責任）

1 利用者が本サービスを利用するにあたり自ら行った行為及びそれらの結果については、利用者は、自らの故意又は過失の有無を問わず、その責任を負担するものとします。

2 本サービスの利用にあたり、第三者に損害を与えた場合、利用者は自己の責任と負担において当該第三者との紛争を解決するものとし、当センターに対して一切の迷惑又は損害を及ぼさないものとします。

#### 第10条（禁止事項）

利用者は、本サービスの利用にあたり、以下の各号のいずれかに該当する行為を禁止するものとします。

① 当センター、タクシー会社、他の利用者及びその他の第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為（係る侵害を直接又は間接に惹起する行為を含みます。）

② 犯罪行為に関連する行為又は公序良俗に反する行為

③ 風説の流布、偽計又は威力を用いて当センター若しくはタクシー会社の信用を毀損し又はその業務を妨害する行為

④ 本規約、法令又は当センター若しくは利用者が所属する業界団体の内部規則に違反する行為

- ⑤ コンピューターウイルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報を送信する行為
- ⑥ 第三者になりすまして本サービスを利用する行為
- ⑦ 本サービス利用の際に、虚偽の情報を入力する行為
- ⑧ 当センターが認める範囲・態様を逸脱した利用行為又は営利目的での利用行為
- ⑨ 本サービスに関し利用しうる情報を改ざんする行為
- ⑩ 当センターの提供する全てのサービスに係る運営を妨害するおそれのある行為
- ⑪ 当センターが禁止行為である旨を利用者に通知又は公表した行為
- ⑫ 前各号のいずれかに該当する行為を援助又は助長する行為
- ⑬ その他、当センターが不適切と判断する行為

## 第 11 条（個人情報）

1 当センターが本サービスの提供に伴って取得した利用者の個人情報については、当センターが別途定めるプライバシーポリシー (<https://ryobi-tc.com/privacy-policy/>) に従って取扱うものとします。利用者が本規約に定める方法でタクシーをオーダーする場合には当該配車依頼に応じた配車を実現するために必要な限度で、利用者の個人情報のうち当センターが指定するものをタクシー会社及び、その他の事業者を提供することを当センターに委託するものとし、当センターは係る委託を受けて利用者に代わって個人情報をタクシー会社及び、その他の事業者を提供するものとします。また、次に定める場合には、利用者の個人情報を第三者に提供することができるものとします。

- ① 利用者の同意がある場合
- ② 裁判所、検察庁、警察、税務署、弁護士会又はこれらに準じた権限を有する機関から開示を求められた場合
- ③ 利用者が当センターに対し支払うべき料金その他の金員の決済を行うために、決済代行会社、回収代行業者等の決済又はその代行を行う事業者が開示する場合
- ④ 当センターが行う業務の全部又は一部を第三者に委託する場合
- ⑤ 合併、営業譲渡その他の事由による事業の承継の際に、事業を承継する者に対して開示する場合
- ⑥ 個人情報保護法その他の法令により認められた場合

2 当センターは、本サービスの提供に伴い、アクセス解析のため、下記の情報を取得することがあります。

- ① cookie
- ② IP アドレス
- ③ 位置情報
- ④ 読み取った QR コード ID（ID はシステム上で割り振ったもの）
- ⑤ QR コードの読み取り日時

## 第 12 条（損害賠償責任）

- 1 利用者が、本サービスの利用に伴い、当センター又は第三者に損害を与えた場合は、かかる損害の全てを賠償する責任を負うものとします。
- 2 本サービスの利用に伴い、第三者から当センターに対し問い合わせ、クレーム等があった場合、当センターはその対象となった利用者に通知し、通知を受けた利用者は、直ちに対応するものとします。
- 3 前項の規定にかかわらず、第三者が当センターに対し、損害賠償請求その他の請求を行い、当センターがこれを解決した場合、その解決に要した費用、被った損害等は全て当該利用者が負担するものとします。

## 第 13 条（権利の帰属）

本サービスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、全て当センター又は当センターにライセンスを許諾している第三者に帰属します。本規約に定める本サービスの利用許諾及び本サービスの提供は、本規約において明示されているものを除き、本サービスに関する当センター又は当センターにライセンスを許諾している者の知的財産権の譲渡又は使用許諾を意味するものではありません。利用者は、いかなる理由によっても当センター又は当センターにライセンスを許諾している者の知的財産権を侵害するおそれのある行為をしないものとします。また本サービスにおいて、利用者が投稿その他送信を行った文章、画像その他のデータについては、当センターにおいて、無償で自由に利用（複製、複写、改変、第三者への再許諾その他のあらゆる利用を含みます。）することができるものとします。

## 第 14 条（免責等）

- 1 当センターは、当センターの故意又は重過失による場合を除き、本サービスに起因して発生した利用者の損害については、一切の責任を負わないものとします。なお、タクシーの配車は、天候、交通状況及び空車の有無等の事情によって左右されるため、配車の遅延等が生じた場合でも一切の責任を負いません。また、本サービスは現状有姿で提供されるものであり、当センターは本サービスについて、運行ルート之最適性、特定の目的への適合性、商業的有用性、完全性、継続性その他一切の事項について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証もいたしません。
- 2 当センターは、本サービスの使用又はアクセスに起因して、以下の各号に定める損害を含めた、利用者及び第三者に生じたあらゆる損害について一切の責任を負いません。
  - ① 本サービスを利用すること又は利用できないことによって生じる損害（利用者の逸失利益を含む）
  - ② 本サービスで公開されている情報の追加、変更、修正、削除、公開中断、公開中止等

によって生じる損害

③ 本サービスにリンクが設定されている他のウェブサイトから取得された各種情報の利用によって生じる損害

④ 本サービスの使用時の、ソフトウェア、ハードウェア上の事故、コンピューターウイルスによる汚染、データの滅失・毀損等によって生じる損害

⑤ 利用者間又は利用者と他の第三者間において生じたトラブル等によって生じる損害

⑥ 本サービスの全部又は一部の提供の中断・中止によって生じる損害

3 当センターが本サービスに関して利用者に対し損害賠償責任を負う場合、当センターが賠償する損害は、直接かつ現実に生じた通常損害に限るものとし、当センターはいかなる場合であっても、間接損害、特別損害、付随的損害、派生的損害、逸失利益、使用機会の喪失による損害についての責任を負わないものとします。

#### 第 15 条（反社会的勢力の排除）

1 利用者は、暴力団、暴力団員及び暴力団員でなくなったときから5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業・団体に属する者、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等、これらの共生者、その他これらに準ずる者（以下、総称して「暴力団員等」という。）、テロリスト等（疑いがある場合を含む）、又は以下の各号のいずれにも該当しないこと、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。

① 自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等又はテロリスト等を利用していると認められる関係を有すること。

② 暴力団員等又はテロリスト等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること。

2 利用者は、自ら又は第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的な責任を超えた不当な要求行為、当センターとの取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為、風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて当センターの信用を毀損し、又は当センターの業務を妨害する行為、その他これらに準ずる行為を行わないことを確約するものとします。

3 当センターは、利用者が前二項の規定に違反している疑いがあると認めた場合には、何らの通知、催告を要せずして、本規約にもとづく本サービスの利用の全部もしくは一部の停止、連携の解除、法的措置、その他必要な措置をとることができるものとします。本サービスのご利用を一時停止した場合には、利用者は、当センターが利用再開を認めるまでの間、利用を行うことができないものとします。

4 前項に定める措置を取ったことにより、利用者に損害が生じた場合でも、利用者は当センターに損害賠償の請求をしないものとします。また、当センターに損害が生じたとき

は、利用者がその損害の賠償をする責任を負うものとします。

#### 第 16 条（準拠法）

本規約の準拠法は日本法とします。

#### 第 17 条（管轄裁判所）

本規約に関する法的紛争の一切に関しての第一審の専属的管轄裁判所は、岡山地方裁判所とします。

#### 第 18 条（言語）

本規約は日本語を正文とし、日本語版を優先するものとします。

2026 年 6 月 19 日 制定